岡山県犯罪被害者等支援条例

制定経緯

- 刑事裁判における被害者参加制度や裁判員制度の発足など、犯罪被害者等を取り巻く環境の変化
- 国の基本計画の見直し
- 社会全体で犯罪被害者等の支援を推進していく必要性
- 県内での犯罪被害者支援に向けた気運の高まり

岡山県犯罪被害者等支援条例

パブリックコメントでの主な意見の概要

- ・ 素案に賛同、民間支援団体として十分に責務を果たしたい。
- ・ 「事業者の責務」について賛同する。事業者への啓発活動は大切であり、一歩踏み込んで規定されたことは意味がある。
- ・ 県民等の理解の増進とあるが、どのように広報啓発を行うのか。
- ・ 条例制定は、失意の中にいる犯罪被害者に一筋の光を与えたように思う。

岡山県犯罪被害者等支援条例

県議会での質問

- 県の条例制定によって何がどう変わり、変えるのか。
- 条例の事業内容についての周知・啓発活動は市町村との連携を密にして、かつ効果的に実践してほしいが、いかがか。
- 県内市町村ごとの条例制定状況の現状と課題、そして条例制定をどう促進しようとするのか。
- 県、市町村の条例制定を契機に、相互の連携・協力の強化を図るべきだが、いかがか。
- 条例を基に被害者のプライバシーの問題について実効性のある取組が欠かせないが、いかがか。

岡山県犯罪被害者等支援条例

目的

1条

基本理念

2条

定義

3条

責 務

県
4条

県民
5条

事業者
6条

民間支援団体
7条

犯罪被害者等の支援に関する取組指針 8条